

青森

消防団

AOMORI
SHOBODAN



自分のまちが
好きだから、
自分にできる
ことをする。

あおもり
消防団
応援の店



消防団の団員は

みんな、普通に暮らす普通の人。

そして、自分のまちが好きな人。



消防団は地域に「住む人」「働く人」「学ぶ人」によって構成されています。
団員はそれぞれ自分の仕事を持ちながら、「自分たちのまちは、自分たちで守る」の精神のもと、住民の安全を守るため、自分たちにできることを日々積み重ねています。



CONTENTS

消防団員インタビュー	P02-07
消防団についてのお問合せ先	P08
消防団応援の店制度	P09
消防団応援の店の紹介	P10-14



AOMORI
CITY



しまなか みゆ

島中 美有

青森市青森消防団
青桜分団所属
26歳 / 舞台・音響スタッフ / 活動歴5年

活動服も操法も、カッコいいんですよ。

消防団にはもともと憧れがあったそうですね？

そもそも母が消防団員だったので、いつか入りたいとずっと思っていました。中学校の防災訓練で消防の活動服を着せてもらったこともあって、すごくカッコいいなと。また、高校では学生主体のボランティア活動をしたりイベントを立ち上げたりと、地域活性化への関心も高かったです。それで東京の専門学校を終えて青森に戻ったタイミングで入団しました。

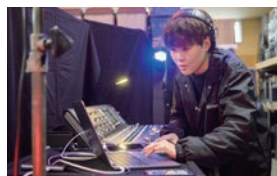
私はいざという時に、通りすがりの一般人でありながらも誰かを助けられるよう、常に防

災の知識を持っておきたいと考えています。その意味でも、消防団の活動はとても有意義なものだと思っています。



活動内容やご自身の目標などを教えてください。

地域の小学校での防災訓練で、子ども達に消火器の使い方を教えたりしています。あと、操法の訓練もあるのですが、お手本となる映像を見た時に



は、そのカッコよさに感動して泣きましたね。それなのに今年度、私は全国大会出場のチャンスを逃してしまったので、次はぜひリベンジしたいです。

今後は応急手当普及員の資格も取りたいですし、消防団ではためになる経験を積めるから、まだまだいろんなことができる気がして楽しみでならないです。定年まで続けます！



KUROISHI
CITY



おさな い ち ほ

長内 千穂

黒石市消防団
本団女性消防部所属
44歳 / 看護師 / 活動歴2年

誰かのために一生懸命。その一心です。

看護師として、災害医療に携わっていたと伺っています。

東日本大震災の時、災害支援ナースとして被災地で活動して、その後もDMAT(災害医療派遣チーム)でいろんな訓練をしました。そこから災害支援や防災への想いが強くなり、消防団入団につながったんです。まだ小さい自分の娘に「カッコいい母ちゃん」の姿を見せたいという気持ちもありましたね。

入団前は、男性ばかりで飲み会が多いイメージでしたが、実際は女性消防部もあるし、火災出動をはじめ車両器具の点検や夜の巡回、操法の訓練などを

日々行っていて、地域の安全を守るんだという皆さんの高い志に感銘を受けました。



私自身は現在、ラッパ隊に所属していて、観閲式が近くなると毎晩練習に参加しています。

入団して良かったことは、何ですか？

幅広い年齢、職業の方とのつながりができて、自分の価値観が広がったと思います。皆さん

話しやすくとても楽しいし、子育て相談をしたりもします。時には娘も連れていくんですよ。

そして私は子どもの頃から「誰かのために一生懸命やる。



それを積み重ねていけば、自分が困ったときにも必ず誰か助けてくれる」と母から教わってきました。いま、消防団活動を通じて、その言葉の意味を実感として理解できるようになりました。



MISAWA
CITY



らいらんど でびっど すこっと

David Ryland

三沢市消防団
本団所属
41歳 / 建設業 / 活動歴1年

仲間と一緒に地域の安全を守りたい。

日本に来て20年と伺いましたが、なぜ消防団に？

沖縄で海兵隊に所属した後、軍を辞めてアメリカの大学や日本語学校を経て、現在は三沢で建設業に従事しています。

以前、消防設備の保守点検に携わり、アメリカで消防設備士



をしていた経歴もあるので、その経験を地域の安全に役立てたいと思い、入団しました。

いまはラッパ隊で頑張っています。消防団の活動や意義を広く伝える役割を担うことで、地域に貢献しているという実感を持てるようになりました。

消防団活動を通じて、人とのつながりと自己成長の両方が得られ、入団して本当に良かったと感じています。息子が「かっこいい」と言ってくれるのもうれしいです。

今後、ラッパ隊以外でやってみたいことはありますか？

実はこれから帰化して日本国籍を取る予定です。これまで外国籍を消防団員ということで活動範囲の制限があったの



ですが、それがなくなるのでより多くの訓練や研修にも参加して、知識と技術を高めたいと考えています。

また、時には三沢の米軍の消防隊との間で通訳としてお役に立てるのではと思っています。

そして何よりも仲間との絆を深めながら、地域の皆さんに信頼される消防団員であり続けたいと思っています。



MUTSU
CITY



そのだ みこ

園田美湖

むつ市消防団
川内消防団第5分団所属
30歳 / サービス業 / 活動歴2年

生まれ育った町で、活動しています。

現住所ではなく、ご実家のある地域の分団所属なんです。

そうなんです。いま住んでる所からそれほど遠いわけじゃないし、活動のある時は実家に帰る形にしています。生まれ育った地元なのでメンバーも顔見知りばかりで仲が良く、家族みたいな雰囲気なんですよ。

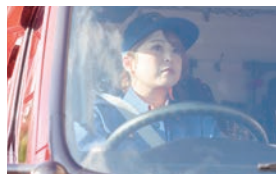
分団には妹と二人で入団しました。女性は私たちだけなので、細かい作業だったり女性目線で気づく部分で活動をサポートできたらと思っています。

消防職員の父からは積極的に参加するように言われているし、夫も応援してくれている

ので、仕事や家庭と両立しながら頑張っていきたいです。

入団してみて、自分の中で意識の変化はありますか？

消防団は火災だけでなく、夜間パトロールとか冬場の消火栓周りの除雪とか、自分が知らないところで動いてくれていたんだな、大変なんだなということが実



際に活動してみてもわかりました。いまでは消防車や救急車の緊急

走行を見ると心配になるし、AEDや消火器の位置を意識するようにもなりました。



今後のチャレンジ目標としては、放水訓練で自分でホースを持って放水してみたいですね。

それと、むつ市消防団全体では実は女性がたくさん活躍しているんです。そこをアピールして、もっともっと女性団員が増えたらいいなと思います。



TSUGARU
CITY



さわだ ゆうた

澤田 佑太

つがる市消防団
柏第3分団所属
25歳 / 地方公務員 / 活動歴2年



チームワーク、協調性が大切です。

入団のきっかけは？そして活動してみたいかですか？

職場の先輩に声をかけてもらい入団しました。自分にできるか不安でしたが、やってみると仲間と協力しながら活動できる楽しさを感じています。

まだ、火災現場の経験はありませんが、月2回の放水訓練や



資機材の点検などを行っています。普段の生活リズムの中で無

理なく参加できるので、仕事との両立も問題ありません。

分団には年齢の近い団員が比較的多いので話しやすいし、いろいろな情報交換ができます。一方で、目上の団員の方と話ができる良い機会にもなっていて、勉強になることが多いし、協調性も育まれたと思います。

意識や行動の変化はありますか？また、今後の抱負は？

やはり、防災警報やニュースなどを前より気にするようになりましたね。そして地域の一人としての責任感が強くなり、周囲への気配りもできるようになってきたかなと思います。

これからは、体力には自信があるのでいざというときに力を発揮したいですし、仲間とのチームワークを大切に、明るく元気に活動していきたいです。



もし、入団を迷っている人がいれば、地域を守るやりがいと仲間とのつながりが得られるので、ぜひ挑戦してほしいですね。みんなで自分たちの町を守っていきましょう！



NANBU
TOWN



かわもんぜん こうた

川門前 洸太

南部町消防団
名川第3分団所属
35歳 / 地方公務員・農家 / 活動歴6年

自宅の火災を機に、入団しました。

ご自宅の火災が入団のきっかけのこと。大変でしたね。

はい。消火の際に消防団の方が色々声をかけてくれたり、隣家に火が移らないように頑張ってくれたりして大変お世話になったんです。その後、勧誘もあって入団しました。いまは月2回の巡回、車両点検、操法訓練、台風や大雨の時のパトロールなどを行っています。



実際の火災現場への出動経験も2回ありますが、間近に見る火への焦りもある中で冷静な



対応が求められるので、やはり日頃の訓練が大切だと思います。自分自身としても入団後は、家の仏壇のろうそくを電気式のものに変えたり、コンロはIHにしたり、食器棚に耐震ポールをつけたりして、防火・防災意識が高くなりました。

入団後、地域との関わり方も変わりましたか？

今まで面識がなかった方との交流が生まれ、つながりができましたね。消防団活動をしていくうえで、まずは地域の人を知るといのはとても大事だと思います。

あと、幼馴染の多くが地元を離れているので、その分、地域のために自分がやらないと、という気持ちにもなりました。

仕事をしながらなので、できる範囲での参加とはなりますが、自分を育ててくれた地元に恩返しができるよう頑張りたいと思っています。